

公立大学法人島根県立大学中期計画(案)の概要(平成25～30年度)

資料No. 1

第1期中期計画期間内の主な成果

- 大学院再編(2009)
- 安全安心のキャンパスづくり(2009～)
- 「島根県立大学憲章」の制定(2010)
- 東日本大震災等へのボランティア参加(2011～)
- 看護学部の設置(2012)
- 「島根県立大学国際交流方針」の制定(2012)

第2期中期計画

■社会情勢の変化に対応した大学づくり

- 1 大学憲章の精神に沿った取り組みの実施
- 2 社会情勢の変化に対応した大学改革の推進

■人材育成

- 1 コミュニケーション能力を備えた人材、グローバル人材の養成(総合政策学部)
- 2 自ら考え行動できる、視野の広い専門職業人の養成(看護学部)
- 3 北東アジア学・総合政策学に関する研究分野や公的機関などで活躍できる人材の養成(大学院)
- 4 実践力のある専門職業人、地域に貢献できる人材の養成(短期大学部)

第2期中期目標

■目指す大学

- 1 高い知性と豊かな人間性を育み、社会に役立つ人材を輩出する大学
- 2 地域に根ざし、地域に貢献する大学
- 3 北東アジアをはじめとする国際的な研究教育を推進する大学

II.2 教育

(2)教育内容の充実

- ア 入学者の受入れ
- ◆志願状況の分析による入学選抜方法の改善
 - ◆国内外に向けた広報活動の強化と高大連携の充実
 - ◆学部と大学院の連続的な教育課程の充実
- イ 教育課程の充実
- ◆体系的なカリキュラム編成
 - ◆英語科目における習熟度別教育の実施
 - ◆リメディアル教育の充実
 - ◆系統立ったキャリア教育の実施
 - ◆関係団体との連携強化
 - ◆多様な学習者の積極的受入れ
 - ◆専門職向けリカレント講座の開催
- ウ 成績評価等
- ◆シラバスの充実と厳正な成績評価の実施
 - ◆大学院におけるディプロマ・ポリシーの作成

(3)教育の質を高めるための取組み

- ア ファカルティ・ディベロップメント
- ◆教育効果の分析等を通じた教育方法等の改善
 - ◆授業公開、第三者による意見聴取等の実施検討
- イ 教育環境の向上への取組み
- ◆情報化に対応した教育施設の実施
 - ◆ラーニングコモンズ等の充実及び電子図書館的機能の強化
- ウ 教育実施体制の整備
- ◆学生同士が教え合い、学び合う環境の充実

(4)学生支援の充実

- ア 学生生活への支援
- ◆心身の健康管理面での支援の充実
 - ◆学生のニーズの酌み取りと結果のフィードバック
 - ◆障がいのある学生への支援の充実
- イ キャリア支援
- ◆就職先の安定確保と新規開拓
 - ◆就職後のキャリアアップ支援及び離職防止のための教育支援の実施
- ウ 進学等の支援
- ◆大学院進学、海外留学等に関する情報提供
- エ 経済的な支援
- ◆資格取得の総合的支援
 - ◆学内奨学金制度の適切な運用
- オ 部活動、ボランティア活動支援
- ◆サークル活動活性化への支援
 - ◆ボランティア活動支援による地域との連携による学生の「共育」の推進
- カ 卒業生組織との連携
- ◆SNS等を活用した同窓会組織との連携強化

II.3 研究

(1)目指すべき研究及び研究の成果の活用

- ア めざす研究
- (ア)特色ある独自の研究テーマに基づく国際的、学術的、総合的な研究や専門的な研究
- ◆北東アジア学創成に向けた総合的な研究の実施
 - ◆自然・社会・人間・文化に関する専門的研究の実施
- (イ)島根県の地域社会が抱える課題解決に資する教育研究の推進
- ◆自治体や地域協力者等との地域貢献に関する共同研究の実施
- イ 研究成果の評価及び活用
- (ア)研究成果の公表と活用
- ◆研究成果の国内外への公表と地域への還元

(2)研究実施体制等の整備

- ア 学内における研究体制の整備
- ◆北東アジア地域研究センターの機能充実
- イ 学外との連携による研究の推進
- ◆国内外の研究機関等との研究の推進

(3)研究費の配分及び外部競争資金の導入

- ア 公正な評価に基づく配分
- ◆教員へのインセンティブが働く制度の充実、運用
- イ 外部競争的資金の導入
- ◆外部資金獲得のための体制の整備

《数値目標》

- ◆教員の科学研究費、受託研究、民間財団助成金等外部資金獲得者割合35%以上をめざす。(全キャンパス)

II.4 地域貢献・国際化

(1)地域貢献の推進

- ア 地域連携に関するコーディネート業務の実施
- ◆地域連携推進センターによる地域からの相談対応
- イ 民間団体等や行政との連携
- ◆自治体、企業、NPO等との連携促進
- ウ 県内教育研究機関との連携
- ◆大学間連携ソーシャルラーニングの強化
- エ 県民への学習機会等の提供
- ◆地域の教育機関との連携促進
 - ◆公開講座、専門職向けのリカレント講座等の開催
 - ◆施設開放の実施
 - ◆「大学・学生と地域を繋ぐ場」としての図書館機能の拡充・強化

(2)国際交流の推進

- ア 海外の大学等との交流
- (ア)海外の大学及び研究機関との交流
- ◆協定締結大学等との交流促進
- (イ)学生の海外短期研修
- ◆異文化交流プログラム等の充実
- イ 留学生の派遣と受入れ
- ◆ダブル・ディグリープログラム協定に基づく留学生の派遣と受入を開始
 - ◆留学・海外研修情報の収集と提供
 - ◆経済的支援等の留学生受入体制の充実
- ウ 国際交流推進体制の整備
- ◆国際交流センター(仮称)の設置

《数値目標》

- ◆ボランティア参加者数について年間700人以上をめざす。(全キャンパス)
- ◆教員の地域連携(貢献)活動取組数について、年間400件以上をめざす。(全キャンパス)
- ◆県立大学・短期大学部の公開講座等の年間受講者数5,000人以上をめざす。(全キャンパス)
- ◆海外留学者数、海外研修、内閣府海外派遣事業等の参加者数について、年間150人以上をめざす。(全キャンパス)

《数値目標》

- ◆県立大学・短期大学部の入学定員充足率100%以上をめざす。(各キャンパス)
- ◆TOEIC 730点、英検準一級、TOEFL iBT 61点(ITP500点)程度の英語力のある学生、又は、英語で卒業論文を執筆する学生を10人以上輩出することをめざす。(浜田キャンパス)
- ◆看護師、保健師、助産師国家試験合格率100%をめざす。(出雲キャンパス)
- ◆卒業時の栄養士資格取得90%以上、保育士資格と幼稚園教諭免許の併有率90%以上をめざす。(松江キャンパス)
- ◆文部科学省の学校基本調査における公立大学(文系)の平均就職率を上回ることをめざす。(浜田キャンパス)
- ◆就職希望者について卒業年度全国短期大学平均就職率(文科省報告)を上回ることをめざす。(松江キャンパス)

III～V 組織運営等

III.1 業務運営の改善及び効率化

(1)運営、組織体制の改善による効率的、合理的な経営

ア 機動的な体制継続

- ◆理事会の合議による法人運営
 - ◆全学運営組織の効果的運営
- ##### イ 事務組織の機能強化、効率化
- ◆業務実施体制の確保及び強化

イ 業務実績が適正に処遇に反映される制度

- ◆教員評価制度の適切な運用

(2)人事管理の適正化

ア 教職員の適正管理

- ◆中長期的な教職員数の管理計画策定
- ◆事務局職員の計画的な採用、養成

ウ 事務職員の人材育成

- ◆人事評価制度の導入検討
- ◆適切な研修の実施

III.2 財務内容の改善による経営基盤の強化

(1)自己財源の充実

ア 外部資金の獲得

- ◆競争的資金獲得に向けた体制の整備

イ 学生納付金等の適切な設定等

- ◆学生納付金の合理的な金額設定
- ◆寄附金等の収入増加に向けた取組

ウ 資産の運用管理の改善

- ◆金融資産等の効率的な運用

(2)経費の抑制

- ◆契約の合理化、集約化、複数年契約化

(3)監査体制の充実

- ◆内部監査等監査体制を充実する

IV.1 評価制度

(1)組織を対象とした評価制度

- ◆島根県公立大学法人評価委員会の評価
- ◆自己点検・評価及び認証評価
- ◆利害関係者の評価

(2)個人を対象とした評価制度

- ◆教員評価制度の適切な運用
- ◆事務職員の人事評価制度の導入検討

V.1 広報活動の積極的な展開

- ◆様々な広報媒体を活用した国内外への情報発信

- ◆大学支援組織との連携強化

- ◆広聴活動の実施

施設設備の維持、整備の適切な実施

安全管理対策の推進

危機管理体制の確保

人権の尊重

環境マネジメントシステムの構築・推進